

中津市議会議員 大塚 正俊

まちづくり 通信

発行；大塚まさとし後援会 中津市新大塚町 384 Tel・Fax 0979-22-6972
 携帯 090-2508-7959 E-mail masatoshi@m-ohsuka.com
 URL (ホームページ) <http://www.m-ohsuka.com/>



「春は、別れと出会いの季節」

桜前線も一気に北上し、いよいよ本格的な春がやってきました。うららかな陽気に誘われて新しい生命がいっせいに芽吹き始めます。

そして春は出会いと別れの季節です。苦楽を共にした人との別れは寂しいものではありませんが、次に訪れる新しい出会いのためのステップでもあります。

別れの季節に「一期一会」という言葉を噛み締めてみると、これまで多くの人々と心温まる出会いをすることが出来たことへの深い感謝の気持ちが湧き起こってきます。

お陰をもちまして、私も市議会議員に当選して2年が経過し、次の選挙の折り返しを迎えることができました。

ご無沙汰ばかりで申し訳ありませんが、初心を忘れず皆様方の期待と信頼に応えられるよう、一生懸命頑張りますので、変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。



市役所南側の桜並木

さて、第1回定例会市議会は、2月21日から3月21日の29日間開催され、平成24年度一般会計補正予算、平成25年度当初予算等の予算関連26件、条例議案37件、その他議案12件、報告4件計79件を原案どおり可決し、請願5件（野球場建設、災害復旧の農家負担免除関係）を不採択としました。また、私たちの会派から提案した意見書1件は、不採択となりました。

■2・3月定例議会で決まったこと。【抜粋】

1. 平成24年度一般会計補正予算 補正額 8億2574万円
 - 小・中学校施設耐震補強事業 7億3512万円
 - ・北部小、豊田小、小楠小、如水小、今津小、沖代小、緑ヶ丘中
 - 地域振興施設整備事業 1億600万円
 - ・道の駅の直売所建設に係るJAへの補助金
 - 大貞総合運動公園整備事業 9億3818万円
 - ・芝生広場整備（約20,000㎡）
 - ・用地の買戻し（52,497㎡）



耐震補強工事を行う沖代小学校

- 南部まちなみ交流館整備事業 6,900万円
 - ・まちづくりの拠点施設建設費、建物面積：360㎡
- 道路整備事業 1億8740万円
 - ・丸山町公園池線、三ノ丁線、豊後町姫路町線工事費
- 永山住宅建替事業 2億9092万円
 - ・建築工事、28戸
- 消防、救急デジタル無線整備事業 4億1407万円
 - ・通信体制の整備（アナログ無線をデジタル化）
- 南部小学校白壁整備事業 1001万円
 - ・南部小学校塀和風化（西側55m）



南部まちなみ交流館整備イメージ図

2. 平成25年度一般会計当初予算 387億6133万円

- 防災管理事業 5776万円
 - ・ハザードマップの修正
 - ・自主防災組織活動補助金（1/2補助）
- 空き家バンク制度推進事業 443万円
 - ・相談員の配置、空き家改修補助金
 - ※1/2補助、上限50万円
- ホームページ運営事業 657万円
 - ・ホームページの3ヶ国語翻訳、スマホ対応
 - ・公共施設へのアクセスマップの導入
- なかつ6次産業創生事業 1692万円
 - ・商品開発、ネットショップ、アンテナショップの運営
 - ・厨房機器の購入
- 市産材利用住宅促進事業 2500万円
 - ・中津市産材を利用した新築、増改築に対する補助
 - ※上限70万円
- 大河ドラマ「軍師官兵衛」観光宣伝事業 5933万円
 - ・パンフレット作成、イベント開催、まちなか官兵衛館
 - ・甲冑レプリカ制作等
- 太陽光発電システム設置事業 2500万円
 - ・住宅用太陽光発電設置に関する補助（上限8万円）
- 加来黒豆線簡易パーキングエリア整備事業 1億5820万円
 - ・道の駅の駐車場、トイレ、情報発信施設の整備
- 小中学施設校耐震補強事業 2656万円
 - ・耐震補強に係る実施設計（沖代、如水、今津、津民、城井小、緑ヶ丘中）
- 如水コミュニティーセンター建設事業 1億2351万円
 - ・用地購入、造成、実施設計
- 今津コミュニティーセンター建設事業 8121万円
 - ・実施設計、建設工事
- 学校給食施設整備事業 6585万円
 - ・第1共同調理場の増設工事（旧中津市の中学校分を統合）
- 消防新署建設事業 1億693万円
 - ・三光下秣 4862㎡、用地取得費、造成工事
 - ・庁舎建設設計費



南部小学校白壁整備、丸山町公園地線の整備イメージ



マリノアシティ福岡にある中津市のアンテナショップ

ネットショップの運営
<http://sansan.brtnet.jp/>

増設される第1共同調理場（間無町）

- 地域振興施設整備事業 1億8500万円
 - ・道の駅の遺跡公園整備工事（加来地区、国道10号線沿）
- 総合運動場整備事業 1562万円
 - ・永添野球場の解体設計、測量設計委託等
- 馬溪橋調査検討事業 1000万円
 - ・馬溪橋の現況調査、学識経験者による検討
- 国際交流事業 116万円
 - ・韓国晋州（チンジュ）市、中国湖北省襄陽（シヨウヨウ）市への視察経費等



解体される永添野球場

3. 条例改正

- 職員の定数条例の改正
 - ・消防職員の定数の増員（100名→120名）
- 職員、特別職、教育長の退職手当に関する条例等の改正
 - ・退職手当の14～16%の削減
- 幼稚園の設置に関する条例の改正
 - ・幼稚園の預かり保育時間の延長（16時30分→18時）
- 耶馬溪交流プラザ施設の設置及び管理に関する条例の改正
 - ・昨年7月の豪雨災害で被災した「やばの駅」の廃止
- 非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の改正
 - ・保育士（6,500→7,300円/日）、給食調理員（5,500→6,000円/日）
幼稚園嘱託員（136,000→152,100円/月）



廃止されるやばの駅

4. 財産の取得

- ・大貞総合運動公園整備の用地（52,497㎡）を8億804万円で購入



大貞総合運動公園整備イメージ図

5. 意見書（不採択）

- ・大分県と四国電力（株）との防災協定を求める意見書

2・3月定例市議会の議案質疑の概要

■私は、議案質疑で以下の項目について執行部の考えを質しました。（一部抜粋）

＜質問＞昨年7月の豪雨災害で被災した農地等の40万円未満の災害復旧工事に対する補助金（90%補助）は工事代金支払い後にしか支払われないが、農家の負担軽減のために工事完了後に支払うように、要綱を見直すべきでは。

【執行部答弁】

災害発生件数が多く、農家負担が重いとの意見も伺っていますので、工事完了確認ができれば補助金交付請求が可能となるよう、要綱の改正を行います。

＜質問＞農地等で国の査定を受けていない40万円以上の災害復旧工事は、国の災害査定工事に準じた取り扱いをすべきでは。



耶馬溪金吉地区の被災農地

【執行部答弁】

補助金交付申請の過程で災害復旧工事の範囲及び復旧方法等について職員との事前協議が整い、尚かつ積算の基準が適正なものであれば、国費災害に準じた対応を考えています。被災状況を考慮のうえ地元又は被災農家の方と工事発注の方法等(市施工・地元施工)を協議し、国費災害の該当箇所と不均衡が生じないような措置を講じたいと考えています。

＜質問＞耶馬溪町の馬溪橋の測量設計委託は、橋の存廃の判断材料となるのですか。

【執行部答弁】

現在、橋を架け替えるにしても、保存するにしても、橋に関する詳細な資料が全くありません。

現在、国交省と山国川の改修について協議を行っておりますが、今回の調査は、橋の保存・架け替えの判断材料の一つと考えています。

ただ、馬溪橋の存廃については、この調査のみで判断するものではなく、国の河川改修の内容や改修効果等、総合的に勘案して判断すべきものと思っています。



通行止めとなっている馬溪橋

＜質問＞現在、加来地区の国道10号線に建設している道の駅について、行楽シーズン等の最盛期には駐車場が不足するのでは。

【執行部答弁】

直売施設、トイレ・情報発信休憩施設・駐車場部分は平成26年3月末、遺跡公園を含む緑地部分は平成26年度中の完成をめざして整備を進めています。

駐車台数は休憩施設計画指針に基づき、本線交通量に立寄り率等から算出しています。駐車場につきましては近隣施設の「豊前おこしかけ」では全体で86台、中津市ではそれを上回る104台分を確保していますので、概ね不足はないものと判断しています。



道の駅の整備イメージ図

2・3月定例市議会の一般質問の概要

■私は、一般質問で以下の項目について執行部の考えを質しました。(一部抜粋)

1. 子ども・子育て支援について

〔経過〕安心して子どもを産み、育てることのできる社会の実現は、社会全体で取り組まなければならない最重要課題の一つです。本格的な人口減少社会が到来し、子どもを生み、育てたいという個人の希望がかなうようにするためのサポートが強く求められています。こうした観点から、質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供、保育の確保、地域の子ども子育て支援の充実を求めるため、「子ども・子育て支援法」関連3法が本年4月1日に施行されました。



(1) 子ども・子育て支援事業計画の策定

＜質問＞子ども・子育て支援事業計画策定に向けたニーズ調査や事業計画はいつまでに作成するのですか。子ども・子育て会議には、国に準じて有識者、子育て当事者、保育所・幼稚園職員等を参画させるべきと考えますが如何ですか。

【答弁】事業計画の策定期間については、平成25年12月頃までにニーズ調査の実施と結果のとりまとめを行い、子ども・子育て会議を設置して、平成26年夏ごろに計画が策定できるように準備を進めていきたいと考えています。

子ども子育て会議の委員については、国の子ども子育て会議のメンバー構成を参考に、バランスよく幅広い関係者を選出していきたいと考えています。

(2) 幼保連携型認定こども園の設置

＜質問＞新たに幼保連携型認定こども園という制度が創設され、公立幼稚園のない旧下毛地域において、保育を必要としない3歳以上の小学校就学前の学校教育を実施することが可能となります。そこで、現行の保育所を幼保連携型認定こども園へ移行すべきと考えますが如何ですか。

【答弁】幼保連携型認定こども園への移行については、現在のところ、詳細が明らかになっていませんが、今後は国の「子ども・子育て会議」を踏まえ議論していくこととなります。

(3) 小規模保育所、家庭的保育所、居宅訪問型保育事業

＜質問＞利用定員6人以上19人以下の小規模保育所、利用定員5人以下の家庭的保育所、居宅訪問型保育事業が創設され、多様な施設や事業の中から利用者が選択できることとなりました。

現在、園児数が減少し休園となっている山移在住の子どもが、仕方なく玖珠町の保育園に通園しています。また、上津保育園も園児の減少で休園されました。

早急に、新制度を導入すべきと考えますが如何ですか。

【答弁】新制度で示された小規模保育所等の保育制度は、子どもが減り続けている地域にあっても、市が地域の状況を踏まえ、6人～19人の小規模保育や5人以下の保育ママ等を活用して保育・子育てを支援するものです。

身近な地域での保育機能を確保できるように、市の事業計画の中で協議・研究していきたいと考えています。



休園中の山移保育園



横浜市家庭的保育事業

(4) 公立保育所、幼稚園の正規職員採用

＜質問＞現在、公立保育所・幼稚園では正規職員が減少し、非正規職員がクラス担任を担わざるを得ない現状があります。より質の高い幼児期の学校教育・保育を実施するため、最低でもクラス担任は正規職員が担えるようにすべきと考えますが如何ですか。

【答弁】行財政改革に取り組んでいることもあり、職員採用については、新しい子ども子育て制度を踏まえて、公立保育所と民間保育所のそれぞれの役割を明確にしたうえで、事務改善委員会において幼稚園教諭及び保育士の職員採用計画を立てたいと考えています。

2. 潤いのある道路景観づくり

〔経過〕道路に植えられる街路樹は、緑の保全や都市景観、そしてまちづくりの上からも非常に重要です。街路樹は、街に緑の潤いをもたらし、人の心に安らぎを与えてくれます。市では、緑の基本計画を策定し、幹線道路には植樹等による緑化を推進することとなっています。

しかし、最近整備されている道路の街路樹の配置のあり方に、変化が生じてきていると感じています。

(1) 駅北口の県道中津高田線、蛭子町、駅南口の中津駅南口通り線の街路樹の配置

＜質問＞駅のホームに立って、駅の北口、南口を見ると、駅前広場は緑化が施されているが、その先の道路には一本も街路樹が植えられていないため冷たい、無機質なイメージを感じます。

そこで、電線類地中化のため街路樹が植えられないということであれば、大型プランターに低木の常緑樹、例えば市の花木「さつき」を植えるなどの検討をすべきと考えますが如何ですか。



駅北口の街路樹のない市道

【答弁】駅北口の街路樹については、歩道の通行状況を調査し、地元の意向も伺う中で、どうするかを今後考えていきたいと思えます。

(2) 街路樹の選定及び維持管理指針の作成

＜質問＞道路景観づくりには、長い年月が必要です。今こそ「街路樹の選定及び維持管理指針」を作成し、街路樹を適切に配置、整備することにより、「人の心に、安らぎを与えてくれる」そんな街を創出していくことが必要と考えますが如何ですか。



ゆめタウン北側市道の街路樹

【答弁】現在、市に対して市民から落ち葉の清掃や剪定等の苦情がよせられ、景観上必ずしも良好な状態でない状況となっています。

このようなことから、市としまして管理指針を作成し、街路樹と共生する道路空間づくりを目指したいと考えます。

3. 企業誘致、地場企業の支援強化、行政による産業振興

〔経過〕工場を海外に移す企業が一段と増える中で、全国の自治体では企業誘致策の拡充、強化が進められています。最も多かったのは、進出企業に対する補助金、助成金で全体の86.8%となっています。中津市における進出企業は、平成20年度以降に新たに進出した企業は10社となっていますが、最近では日田、宇佐、豊後高田市への進出が目立っています。

(1) 進出企業、地元企業に対する優遇措置の見直し

＜質問＞市では、進出企業等には3年間の固定資産税の課税免除を行うとなっています。

市の企業への優遇措置は県下では最低レベルにあり、地元企業の海外、県外流出を阻止するため、企業への優遇措置の見直しを行うべきと考えるが如何ですか。

【答弁】他市においては用地購入費や新規雇用者に対する助成制度があることも認識しています。そこで、4月より企業誘致等を促進するために、国が定めている工場敷地内の緑地率の緩和を図るための措置を講じたところです。

今後、東九州自動車道の完成や中津日田高規格道路などによる道路網のインフラ整備など、企業立地における中津市の優位性をアピールするとともに、ご指摘の優遇内容についても拡充の必要性について検討していきたいと思っております。

(2) 個人やNPO法人の起業支援

〔経過〕過疎地域では、人口減少と高齢化の進行により、地域の活力が低下し、厳しい状況に置かれています。しかし、他市の過疎地域において、豊かな地域資源も活用しつつ、個々には小規模であっても多種多様なアイディアをもとにした産業おこし＝起業の可能性を探る動きが始まっています。

高度情報化や交通通信体系の整備、人々の価値観の多様化や自然志向の高まりといった時代の潮流の変化を、過疎地域において新しい産業を起す上での追い風にすべきと考えます。

＜質問＞6次産業創生推進協議会が中心となって新規商品開発を進めていますが、次のステップとして、そこで開発された商品や田舎でストーブガードを製造販売している方々の起業を支援する補助金等制度の創設が必要と考えますが如何ですか。



6次産業創生推進協議会成果発表会

【答弁】企業が行う事業活動につきましては、個人事業主も含めて自らの責任において行うことが原則ですが、例えば、先日国の補正予算において創設された「起業支援型地域雇用創造事業」など、一定の公共性が担保され、地域経済の活性化に繋がると判断される取り組みについては行政が支援する制度もありますので、こうした支援制度の周知を随時行ってまいりたいと考えています。

■トピックス

“道の駅の整備、運営に関する提言書を提出”



2月7日、議員の有志10名で結成した6次産業推進研究会が「道の駅の整備、運営に関する提言書」を市長に提出しました。

この提言は、加来地区の「道の駅」について、持続可能な経営体制の確立と魅力ある道の駅づくりに向けて1年間かけて調査研究してきたものです。

事務局長として提言書のとりまとめは大変でしたが、内容の濃いものが出来上がりました。

■トピックス

“2年後の市議選は、26名となります。”



3月1日、議員定数調査研究プロジェクトが「地方分権時代における適正な議員定数について(答申)」を議長に提出しました。

この答申では、「適正な議員定数は、26名が妥当である。」との結論となっています。

この答申を受けて、議員定数を28名から26名に削減する議員定数条例の一部改正(案)が議会に提案され、可決されました。

事務局長として、データの解析や会議資料、答申書等を作成しましたが、答申どおりに議決できたことに、ほっとしています。

■活動日誌 主な活動の一部をご紹介します。

月日	曜日	活 動 内 容
1月2日	(水)	新大塚町平成会新年会
1月5日	(土)	新大塚自治会会計監査、中津南高第32回生プレ同窓会
1月8日	(火)	議会会派打ち合わせ、中津商工会議所賀詞交換会、北部小学校一斉下校交通指導
1月9日	(水)	中津市自治研究センター理事会
1月10日	(木)	企業誘致及び地域活性化推進研究会
1月12日	(土)	南部まちなみ交流館建物調査
1月13日	(日)	新大塚町自治会総会
1月16日	(水)	6次産業推進研究会総会
1月17日	(木)	県政市政報告会in小楠、佐賀市職労自治研究センター視察
1月18日	(金)	社民党中津支部・中津地区平和運動センター旗開き
1月20日	(日)	議員定数調査研究プロジェクト会議、各種団体代表者との意見交換会
1月21日	(月)	会派電力関係視察(伊方原発、伊方町、高知県梶原町)22日まで
1月24日	(木)	転倒ゲートのエンジン付き巻き上げ機試運転
1月25日	(金)	建築士会中津支部新年会
1月26日	(土)	どんど焼きの竹切り、安全・安心まちづくり推進大会、北部校区自治委員会新春互例会
1月28日	(月)	県本部市職員退職予定者激励集会(29日まで)
1月30日	(水)	議員間自由討論、「黒田官兵衛をたどる」議員研修会、馬溪橋の地元協議
1月31日	(木)	日田市行政視察(生ごみの資源化、墓地の経営許可)
2月2日	(土)	地域サロンのアンケート入力作業、平成会2月例会、新年会
2月3日	(日)	県政市政報告会in沖代公民館
2月5日	(火)	NPO法人中津まちなみ会例会、自治体議会課題検討会議
2月6日	(水)	行政視察受け入れ(愛知県豊橋市、岡山県早島町)、中津ご当地弁当プロジェクト
2月7日	(木)	「道の駅の整備、運営に関する提言書」の提出
2月9日	(土)	みんなとシンポジウム(中津市議会改革の現状と今後の課題)、新大塚町どんど焼き
2月10日	(日)	北扇ドリーム餅つき大会
2月13日	(水)	市長との意見交換会in米山
2月15日	(金)	市長との意見交換会in新大塚町
2月16日	(土)	九州のムラ市場販促イベント
2月18日	(月)	議員定数調査研究プロジェクト会議、議会運営委員会、第1回地域サロン設立準備会
2月19日	(火)	6次産業推進研究会
2月21日	(木)	3月議会開会、企業誘致及び地域活性化研究会
2月22日	(金)	中津市職労臨時大会、NPOなかつ耶馬溪活き域きネット打ち合わせ
2月26日	(火)	平成会親睦旅行(27日まで)
2月28日	(木)	3月議会議案質疑(1日目)
3月1日	(金)	3月議会議案質疑(2日目)、全員協議会、議員定数の答申書提出
3月3日	(日)	マリノアシティ福岡で販促イベント
3月4日	(月)	軍師官兵衛ゆかりの地を巡る現地調査
3月5日	(火)	3月議会常任委員会(総務消防、厚生委員会)
3月6日	(水)	3月議会常任委員会(文教経済、施設委員会)
3月8日	(金)	城北中学校卒業式、中津駅弁プロジェクト
3月9日	(土)	大分仙人源流しいたけ狩り体験
3月10日	(日)	新大塚町第1回役員会
3月11日	(月)	3月議会委員長報告、質疑、討論、採決
3月12日	(火)	3月議会一般質問(1日目)
3月13日	(水)	3月議会一般質問(2日目)、本耶馬溪支所退職者激励集会
3月14日	(木)	3月議会一般質問(3日目)
3月15日	(金)	軍師官兵衛ゆかりの地を巡る現地研修会
3月16日	(土)	第2回北部校区4町サロン設立準備会
3月17日	(日)	中津市「協賛」フォーラム、防犯パトロール&ゴミ拾い
3月21日	(木)	3月議会最終日、中津市議会・市執行部親睦会
3月22日	(金)	6次産業創生推進協議会研究発表会、北部小学校卒業式
3月23日	(土)	平成24年度新大塚町平成会総会、北部校区4町サロン(試行)
3月24日	(日)	耶馬溪につぼみ酒をつくる会直会
3月26日	(火)	中心市街地活性化研究会視察(姫路市)28日まで
3月28日	(木)	誘致企業推進及び地域活性化研究会in本耶馬溪
3月29日	(金)	道の駅のトイレ整備に関する打ち合わせ



日田市バイオマス資源化センター視察



県政市政報告会 in 沖代



新大塚町どんど焼き



マリノアシティ福岡で販促イベント



北部校区4町サロン(開会式)

◆活動報告は、ホームページに、詳しく掲載しています。

<http://www.m-ohsuka.com/> 又は大塚正俊オフィシャルページで検索して下さい。